

【在留証明・記入例】

<見本>

形式 1

在 留 証 明 願

令和 ● 年 ● 月 ● 日

在中華人民共和国日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	証明 太郎	生年	明・大 昭・平・令	35年 3月 22日
代理人氏名 (※1)	市区郡以下を記入される場合には、本籍地が わかる書類(戸籍謄本等)の提示が必要です。			
申請者の 本籍地 (※2)	東京都	千代田区霞が関2丁目2番地1 (市区郡以下を記入してください。※2)		
提出理由	不動産登記手続	提出先	東京法務局	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

※ 日本側への提出書類となりますので、必ず『日本の漢字』でご記入願います。



現 住 所	日本語: ※ 簡体字しか分からず、当欄への記入が難しい場合には「未記入」のままご持参ください。 中華人民共和国北京市朝陽区亮馬橋路1号〇〇公寓〇〇室
	外国語:
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)	中国側発行の「住宿登記表」に基づき、ご記入願います ↓ (令和・平成・昭和) 年 月

(※1) 本人申請の場合は記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

※ 以下の部分は、当館が記入する「官公庁記載欄」です。何も記入せずにご持参願います。

在 留 証 明

証 第 R〇〇-〇〇〇〇〇〇号

上記申請者の在留の事実を証明します。

令和 ● 年 ● 月 ● 日

在中華人民共和国日本国大使館

特命全権大使 金 杉 憲 治

(手数料: 元 )